

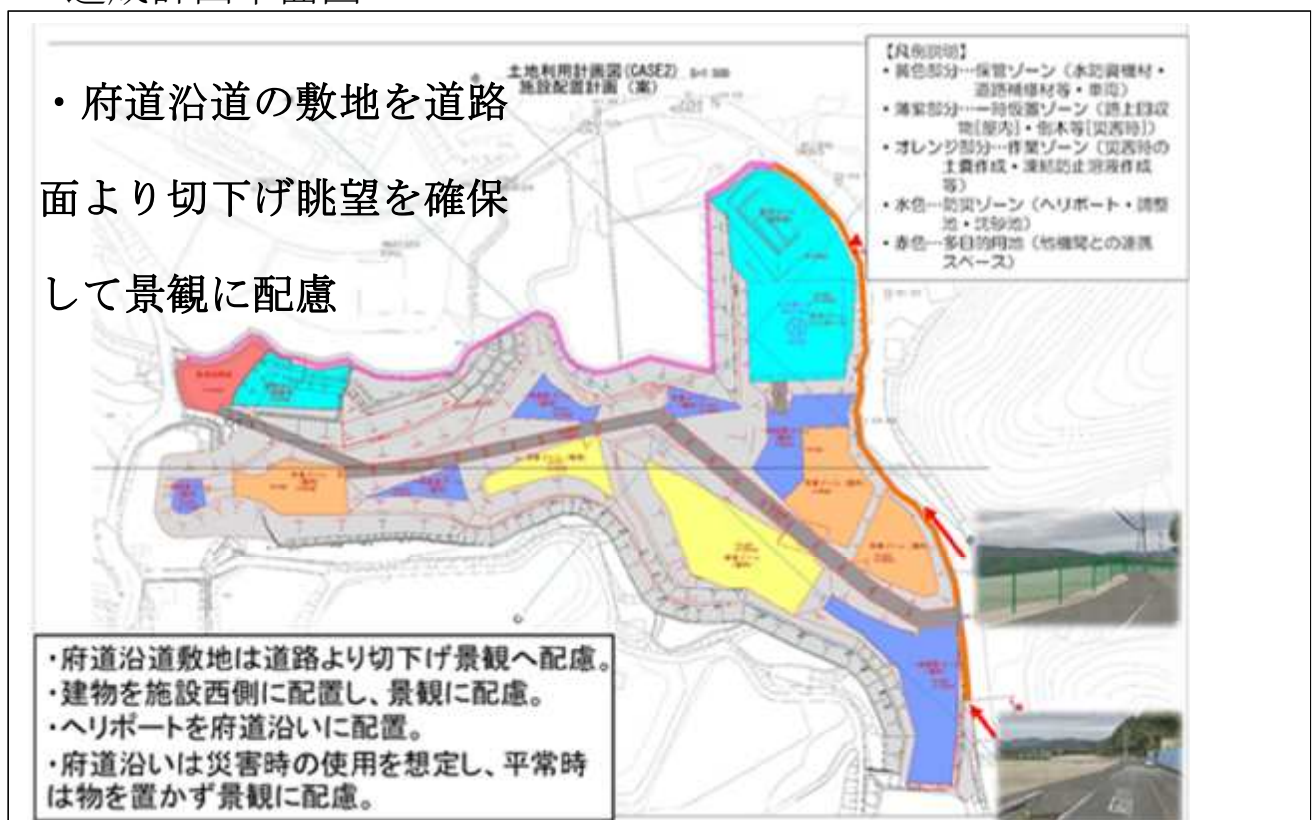
維持管理基地(仮称)整備方針(案)

1.土地利用計画

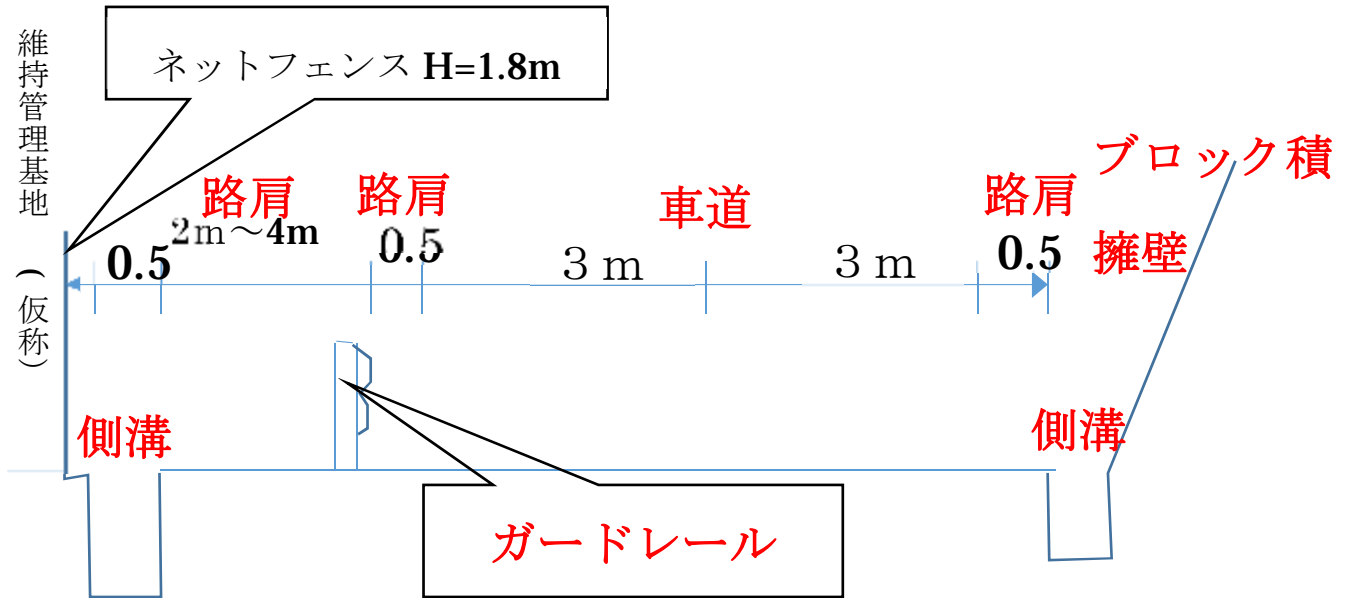
基地の4つの機能に必要な面積と使用頻度

維持管理基地内施設の面積と使用頻度			単位：㎡	
機能種別		適用例	最小面積	使用頻度
保管機能	屋内	水防資機材・道路補修資材 等	500	月1回程度
	車庫	除雪車他	500	冬季のみ及び月1回程度
	小計		1,000	
作業ゾーン	屋内	凍結防止剤・土嚢・大型土嚢等	500	常設
	屋外	砕石・栗石等で大型土嚢等作成	1,000	災害時等
	小計		1,500	
一時仮置機能	屋内	路上回収物等	1,000	週1回程度
	屋外	倒木等	1,500	災害時等
	小計		2,500	
作業用通路面積 ㎡			1,500	
基地としての面積 合計			6,500	
防災機能	屋外	沈砂池・調整池	2,000	
	屋外	ヘリポート	1,000	
	小計		3,000	

造成計画平面図



道路標準横断図 (イメージ)



2.整備に関する基本的考え方

【上面利用】

- ・ 上面の造成計画は計画図の通りとする。
- ・ 府道沿いの平地部は現段階では造成計画のみを決め、継続的に良好な維持管理がなされるよう、イベント等で利活用しながら検討する。
- ・ 基地内に豊能町管理のへりポートを設置する。
- ・ 里道は基地北側境界付近に復旧し、既存の里道に接続する。

【防災】

- ・ 基地内に調整池を配置する。
- ・ 地元住民が自ら災害対応するためのスペースの設置を豊能町と共に検討する。

【景観】

- ・ 茨木方面から豊能町へ帰ってきた時の西方向の稜線の眺望に配慮する。
- ・ 道路から見える法面は緑化する等景観に配慮する。

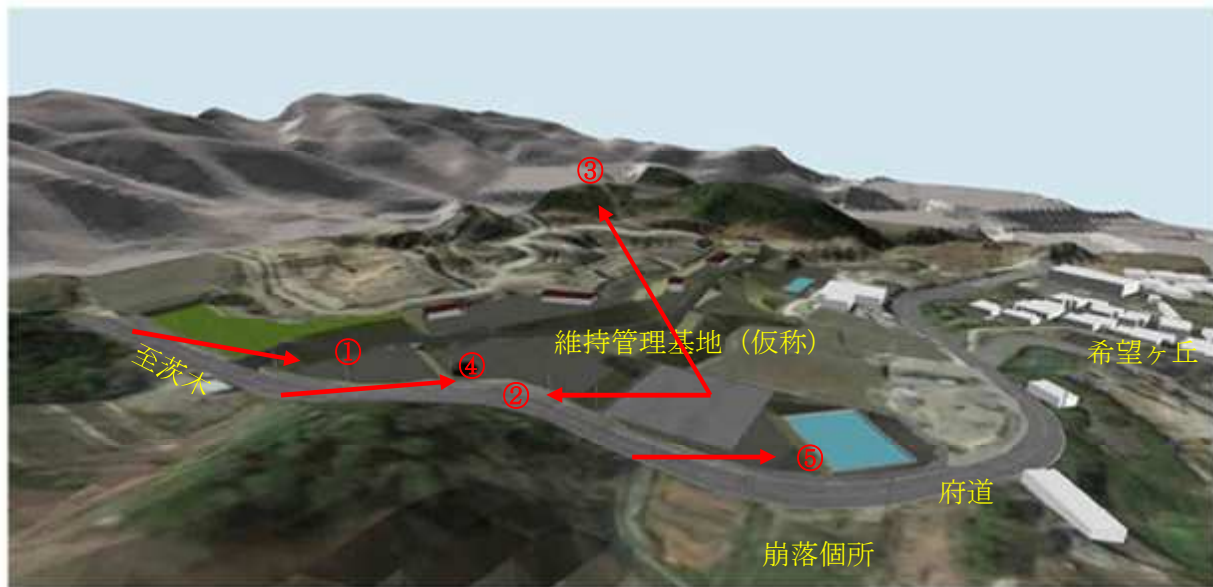
【管理】

- ・ 基地内への侵入規制のため、景観に配慮したフェンスを設置する。

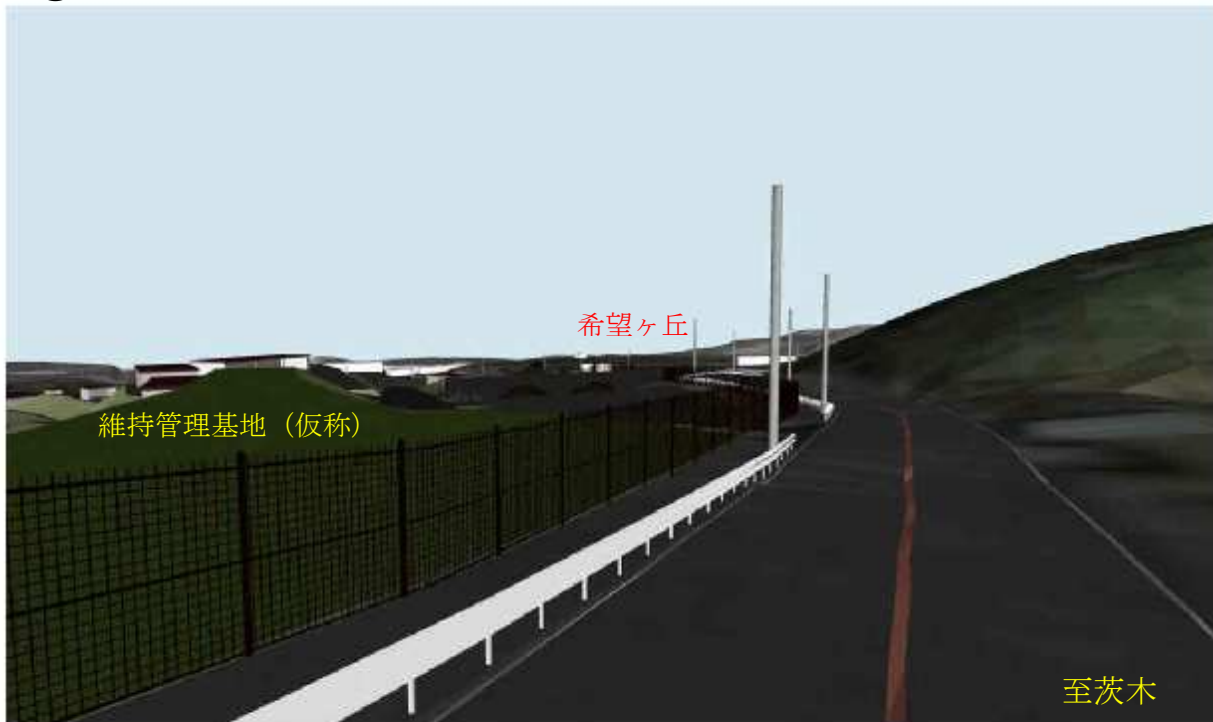
【スケジュール】

- ・ 次年度着工、**3～5**年での概成を目指す。

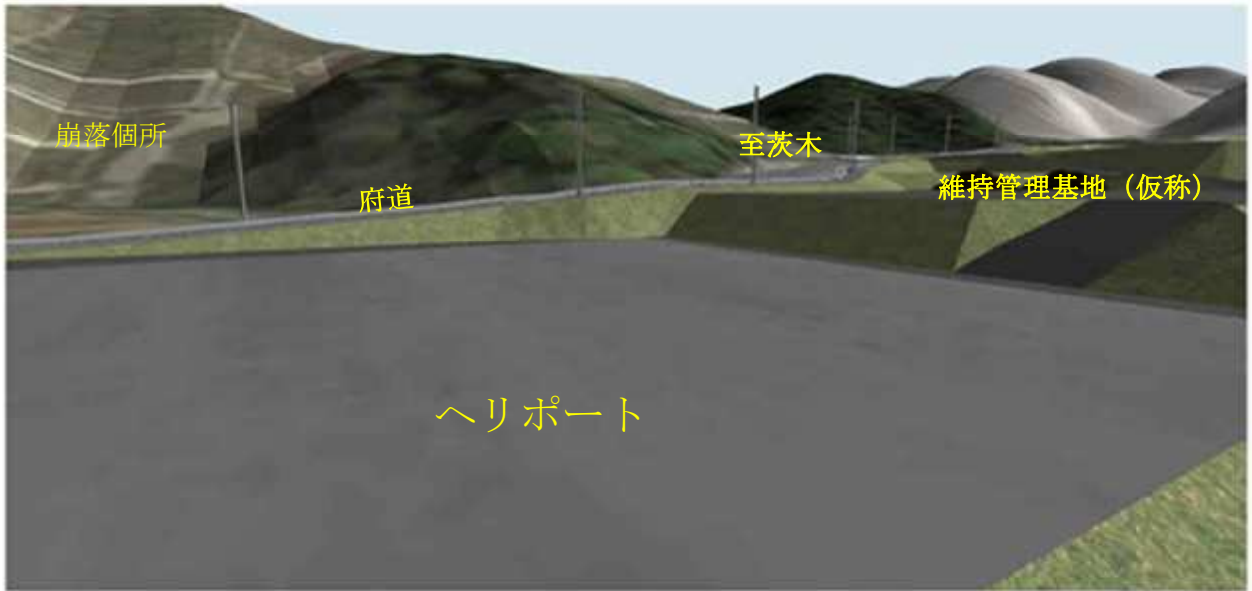
3. 整備イメージ



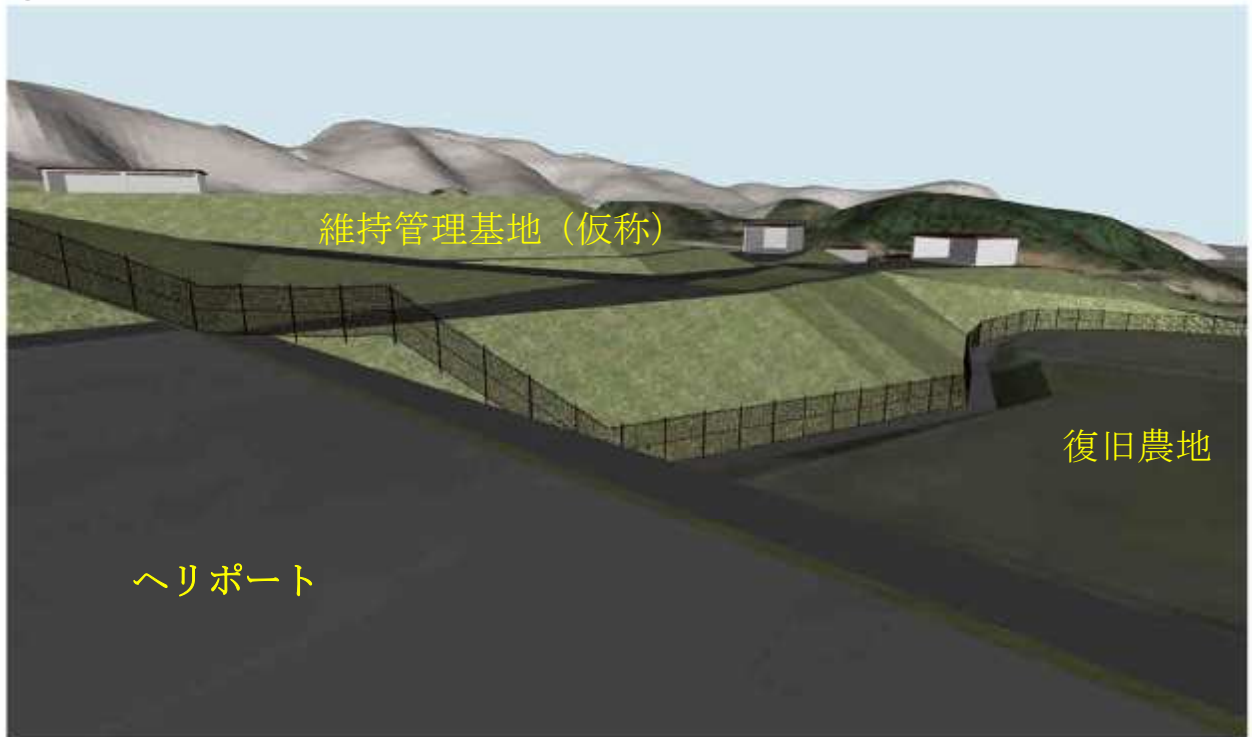
①



②



③



④



維持管理基地 (仮称)

路肩
ガードレール

ブロック積
擁壁

側溝

⑤



沈砂池

路肩

ヘリポート

ヘリポート入口

ガードレール